

夢実現



平成31年1月11日(金)

日向市立美々津中学校

校長 崎田 浩二

皆様方、新年のお慶びを申し上げます。

本年も美々津中学校をどうぞ宜しくお願いいたします。

☆☆☆ 三計のこと ☆☆☆ ～ 安井息軒に思う ～

安井息軒は、寛政11年(1799年)元旦に安井滄洲の次男として清武郷中野に誕生しました。古来山紫水明の地からは、多くの俊秀が輩出するといわれますが、清武郷からも滄洲・息軒親子をはじめ、多くの先哲を世に送り出し、中でも学問を好んだ安井清溪・息軒の兄弟は、中国の宋の時代の逸材、蘇軾・蘇轍に比して「安井の二蘇」と呼ばれるほどでした。

ただ残念なことに、兄の清溪は26歳の若さで帰らぬ人となり、その俊敏の才を惜しまぬ人はなかったと言われています。残された息軒は、後に偉業をなしますが、その幼少期は、決して楽しい日々ではなかったようです。息軒は、幼くして患った疱瘡のために重篤な状態に陥り、顔に疱瘡痕が残り、右目が潰れてしまいました。そのために『息軒(仲平)さんはえらくなりなさるだろう。』という良い評判もあれば、その風貌を見て「今日も猿が本を読んどる。」だの「猿が歩いとる。」等と、公然と悪口を言う者や陰口をたたく者が後を絶たなかったようです。顔見知りの者達からもこのような陰口をたたかれた胸中を察するに……。

息軒の運命が変わったのは、21歳の時のこと。父から金子10両を受け取った仲平は、その年の春、清武を立ち大阪は篠崎小竹の門を叩きました。その後、向学心に燃えた仲平は、26歳で江戸に遊学し、昌平坂の学問所で勉学に励みます。ここでもやはり仲平の風貌を見た周囲から嘲笑や侮蔑の目を向けられ、小馬鹿にされますが、『今はただ 忍が岡の杜鵑 いつか雲に 名をや揚げなむ』という歌を残しつつ、自分の信じた学問を究めていきます。

仲平が清武に戻ったのは29歳の時でした。その後、川添佐代と結婚した仲平は、文政10年に清武に学問所が落成し、『明教堂』と命名されると、滄洲・息軒父子は、ここで儒学を講じ、さらに天保2年飢肥に藩校『振徳堂』が落成すると、父子はここでも教授・助教授の職に就き、子弟の教育にあたり数多の人材を世に送り出しました。

さらに息軒は、天保9年40歳の時に、かねてから学問の研究と門生の指導に打ち込みたいと希望していた息軒は、一家を挙げて江戸に移住しました。そして、天保12年、私塾を開設し、『三計塾』と命名しました。『三計塾記』の冒頭に次の言葉があります。

【三計トハ何ゾ 一日ノ計ハ朝ニ在リ 一年ノ計ハ春ニ在リ 一生ノ計ハ少壮ノ時ニ在リ】
意味するところはおおよそつかめると思います。特に最後の句～一生の計画は青年時代に立て、勉勵することの大切さを言っています。現在の中学生の皆さん、価値観の多様化している現在、単に学校の勉強のみを励むのではなく、視野を広く持ち、学校以外でも自分の興味のあることを追求したり、世の中や社会のことを学ぶことも大切だと考えます。

この三計塾から明治の日本を背負う多くの英才が輩出したことはご存じの通りです。陸奥宗光、品川弥二郎、谷干城、三好退蔵等々、その数二千余と言われています。「人材を教育して国家の用に立つべし」という父滄洲の念願は、ここに実現したのです。

その後、息軒は、幕末の動乱を生き抜き、新しい日本作りのための人材教育に尽力した後、明治9年に78歳でその「高尚なる人生」を終えました。我が宮崎の郷土の偉人として…。

伊達直人プロジェクト



美々津中に多くの寄贈本が全国各地から届きました！

昨年11月に本校で「学力向上」についての講演をしていただいた著書「営業の魔法」で有名な中村信仁様が、ご自身のラジオ番組で全国に『美々津中学校に本を送ろう』と呼びかけて下さった結果、12月19日に約400冊もの新刊の本（学習辞典やハードカバー本、そして文庫本、また3年生には1人1冊ずつの本も贈られてきました。）が学校に届きました。全く見ず知らずの方々が、全国各地から中学生が読むにふさわしい本をボランティアで寄贈して下さいました。

当に、伊達直人（タイガーマスク）プロジェクトの恩恵に預かった美々津中学校でした。早速、終業式の日全校生徒で記念撮影（下写真）と全員に2冊ずつ好きな本を選ばせ、貸し出しました。実は、今月にも追加の寄贈本が届くことになっています。昨年度年間800冊の貸出だった本校図書館は、今年度の12月末迄の時点で、既に2000冊近い貸出状況になっており、今回の本の寄贈で、さらに生徒の読書意欲が増していくことが期待されています。先に息軒の逸話の中で述べたように視野や価値観を広げ、将来の社会貢献につなげるためにも有益な読書を本校では、益々推進していきたいと考えています。

《 本を両手に満面の笑みの生徒 》



12月25日（火）：牧水かるた大会より

年も押し迫った12月25日（火）に「牧水かるた大会」が行われ、本校生徒が素晴らしい活躍を見せてくれました。

団体戦は、2チーム「**月の出ず**」及び「**海底**」がエントリーしました。前者は3年生のチーム。メンバーは、星野聖蓮君、新名樹莉亜さん、鈴木百花さん、黒木心菜さん。後者は、2年生チームで、メンバーは、是則さくらさん、藤間 樹さん、黒木幸希さん、谷岡 翔君が出場しました。

結果は、230枚取った「**月の出ず**」が見事に**優勝**。

「**海底**」も180枚を取って3位に入賞とダブル入賞という見事な成績を修めてくれました。個人戦でも河野佑都君が97枚を取る健闘ぶりを見せてくれました。

2年生には、今回出場していない強者がまだいるという話も聞いており、来年もとても楽しみです。



表彰を受ける「月の出ず」と「海底」

★★★ 県教育委員会からのお知らせ ★★★

県教育委員会では、「学校における働き方改革推進プラン」（案）に対するパブリック・コメントを実施しています。これは、県が出している『学校における働き方改革推進プラン』を閲覧して、県民から広く意見を募集するというもので、以下の場所で閲覧が可能となっています。

【○県民情報センター ○各県政相談室 ○県立図書館 ○県のホームページ ○県教職員課】
※上記の場所に専用の「ご意見記入用紙」がありますので、そちらに記入の上ご提出下さい。

新学期が始まり、1週間が過ぎました。子ども達は元気に学校生活を送っています。教職員も今年も和の心で精一杯頑張ってお参りしますので、どうぞ今年も宜しくお願いいたします。